



## 和歌山県庁文化国際課メールマガジン★NO.2★

皆様、いかがお過ごしでしょうか。

今年も早いもので、残すところあとわずかとなりました。

1年の間に、色々なことがあったことと思いますが、また、新しい年が始まります。

希望、目標、計画など人それぞれ新年に向けて考えているところではないでしょうか。

メルマガでは毎回内容を充実させ、来年も様々な情報をお届けしていきたいと考えていますので、今後もよろしくお願いします。

それでは、メルマガNO.2をお読みください。

### ◆文化国際課の紹介～国際交流員の仕事～◆

現在、和歌山県庁に国際交流員は5名おり、英語、中国語、韓国語、トルコ語、スペイン語に対応しています。国際交流員の仕事は大きく分けて2つあります。

1つは語学に関すること。翻訳通訳業務です。海外から届く手紙やEメール、また様々な部署から依頼される翻訳、例えば、資料、各種パンフレットや県内の道路標識の訳等多岐に渡ります。また、各国の大使関係者等お客様が来られたときの通訳業務があります。

2つ目は、国際交流に関すること。和歌山県はアメリカ、中国、スペイン等の国々と友好提携を結んでいます。こうした国々との交流がより盛んに、そして有用なものになるよう‘縁の下の力持ち’として、また和歌山県の国際化が進むよう力を尽くしています。

例えば、中国、韓国、トルコ国際交流員による「出張講座」。高校などからの依頼を受け、学校を訪問し、文化、習慣の違いなどの理解が進むよう興味深いテーマを盛り込んだ講座を行っています。

### ○【国際交流員のある日の1日（スペイン語担当中村貴子国際交流員の場合）】

出勤したらまずはメールチェック。メールは海外との業務には、必要不可欠です。時差を気にせず、お互いどんどん送ることができます。次に、問い合わせをしておいたスペイン・ガリシア州から交流に関する回答が届いたので、回答を訳し担当者へ渡します。内容に関して協議し、返答を訳してスペイン・ガリシア州の担当に送ります。

12時からの休憩時間は他の言語の国際交流員とランチをしながら、お互いの仕事の進捗状況や通訳業務の経験を話したり、また各国の文化や習慣について聞いたりします。仕事上のアドバイスをもらったり、情報を共有したり、他の国を知る貴重な時間です。

午後は、中南米にある県人会（メキシコ、パラグアイ、ペルー、アルゼンチン）への通達文の訳に取りかかります。日系人の方々も2世、3世と世代を追うごとに日本語ができなくなり、スペイン語でお伝えすることになります。

和歌山県の在外県人会はアメリカ、カナダなど世界中に14あり、在外県人会との繋がりは県にとっても大切なものです。毎月『県民の友』などを在外県人会の方々にもお送りし

て、和歌山県の情報発信しています。

そろそろ終業時間。ですが、今日は、水曜日！実は、毎週水曜の就業時間後に県庁職員を対象にスペイン語学講座を行っています。（韓国語と中国語の講座もあります。）

講座の準備を整え、開講します。10数名の受講者が続々と教室に入ってきます。毎回、講座の最初にスペイン語の歌を歌うので、1ヶ月に1回くらいの割合で新曲を選びます。その選曲も楽しみのひとつです。5, 6曲はスペイン語で歌えるようになりました。楽しみながらスペイン語を学習し、職員の方々に国際感覚を身につけて頂ければと思っています。

1日はこんな風に過ぎていきます。

## **クイズ！海外豆知識！**

各国の情報について楽しく紹介するためにクイズを出題することにしました。少し難しいかもしれませんが、考えてみてください!!（正解、解説は最後に記載しています。）

Q1.韓国の祝日ではない日は次のうちどれでしょうか？

- ①旧暦4月8日ーソッカタンシニル(釈迦誕生日):仏教の日
- ②5月5日ー子供の日
- ③旧暦8月15日ーチュソク(秋夕):日本でのお盆
- ④10月9日ーハングル(韓国語の文字の名前)の日
- ⑤12月25日ークリスマス

Q2.トルコの国民の平均年齢は次のうちどれでしょうか？

- ①25
- ②29
- ③33
- ④36
- ⑤42

## 国際交流員による異文化紹介

今回は中国語担当の白雨田（はく うでん）国際交流員による母国の食文化に関する紹介です。

### 「南甜、北咸、東辣、西酸」—中国料理の味の話

中国料理は地域性が強いので、地域によって味もかなり異なっています。そのため、中国料理は従来から「四大料理」、即ち「北方系の北京料理、南方系の広東料理、西方系の四川料理、東方系の上海料理」という四つの系統に分けられています。

一方、日本では中国料理の味を言及する際に、「南甜（甘い）、北咸（塩辛い）、東辣（辛い）、西酸（酸っぱい）」という言い方もよく使われており、また、これは「四大料理」の味付けをさしているのだという解釈もしばしば見受けられます。

しかし、実際に四大料理の味付けを当てはめてみると、「北咸」と「北方系の北京料理」が対応できる以外に、ほとんど合っていないことが分かります。ちなみに、四大料理中、一番甘い料理は、「南方系の広東料理」ではなく、「東方系の上海料理」であります。一番辛い料理は「東」ではなく、疑いもなく「西方系の四川料理」であります。さらに「西酸」に言われる「酸っぱい」料理ですが、そもそも「四大料理」の主な特徴とは言えません。

実は、「南甜、北咸、東辣、西酸」の言い方は、昔北京の人々が北京周辺の地方料理を指すときの言い方だったようです。ちなみに、「南甜」の「南」は「南京」で、南京料理（主に近くの蘇州系の料理）には甘い料理が多いので、「南甜」と言われています。「北」は北京北部の「河北省」で、気候が寒冷であるため、味付けが濃く、「北咸」と言われています。

「東辣」の「東」は「山東省」で、山東料理には、食事の時に、生で辛いねぎやにんにくを食べる習慣があるので、「辣」と言われています。「西酸」の「西」は「山西省」で、山西省の人々が「黒酢」をこよなく愛飲し、料理にも大量に使うので、山西料理は「酸」味が特徴であります。

よって、「南甜、北咸、東辣、西酸」は決して中国全域の四大料理を指しているのではありません。あえて一文字でそれぞれの料理の特徴を言うと、「南淡（あっさり）」「北咸」「東甜」「西辣」のほうがもう少し合っているでしょう。しかし、現代中国の四大料理はどんどん進化、互いに融合をしており、例えば北方系の北京料理だけでも、「咸、甜、酸、辣」などの特徴があります。また、南方系の広東料理は「酸、甜、苦（苦み）、咸、辣、鮮（うま味）」の「六味」が特徴とされています。西方系の四川料理はさらに「咸、酸、辣、甜、麻（花椒の痺れるような辛さ）、苦、香」の「七味」がその味付けの特徴とされています。ここまでくると、もはや一文字で四大料理それぞれの特徴をとらえるのは不可能になっています。

実際に、現在も「南甜、北咸、東辣、西酸」の言い方はよく中国で使われていますが、すでに具体的な味を指す意味を失ってしまい、単なる「地域によって味も違うぞ」という文脈になっています。

## \*英語ABCコラム\*

このコーナーでは、英語担当の森恵美国際交流員より英語に関する様々なことについて紹介していきます。

人混みの中を通る時などは、英語で”Excuse me.”「すみません。」と言いますよね。私が始めて海外（オーストラリア）に行った時の事でした。お孫さんを連れておばあさんが、私の前を通る時、”Excuse us.”と言ったのです。「すみません。」は”Excuse me.”と思いついていたので、とても驚きました。”Excuse”というのは「～を許す」をいう動詞で、後ろには「～を」にあたる目的語がきます。「私（1人）を通らせてください、すみません。」という時は、”me”で良いのですが、「私たち（複数）を通らせてください。」という場合は当然”us”になるのです。何の疑問もなく丸暗記していた表現も、文の構造を正しく理解しておくことで、応用して使うことができるようになります。日本語とは違い、英語では、単数・複数の概念・区別がはっきりしていることから、meなのかusなのかの違いがポイントです。

## ◎和歌山県職員による「異文化体験記」◎

### 美食节（メイシージェ）

皆様、こんにちは。現在県より中国山東省へ派遣されている稲垣です。

私は現在午前中は山東師範大学で中国語の勉強をしています。今回は、先日大学の留学生の課外活動の一つとして行った“美食节”についてご紹介したいと思います。

“美食节”は、留学生がそれぞれ自国の料理を作り、中国人学生や他の留学生に振る舞う、という活動です。日本人留学生もみんな協力して、日本料理を作りました。私たちが提供したのは、“和菓子”です。日本料理は中国でもある程度普及していますが、和菓子を食べる機会はめったにありません。なので、この機会に日本のスイーツを知ってもらおう、ということで和菓子にチャレンジしました。しかし、ここは中国、なかなか材料がありません。どら焼きと白玉を作りましたが、どら焼きの生地はホットケーキミックスで代用しました。あんこは中国でも売っていますので、見つけるのに苦労はしませんでした。

友達の中国人にお菓子の材料専門店を教えてもらい、そこで抹茶を発見！これは使える！と思い、白玉粉に抹茶を混ぜて、彩りをきれいにし、みたらしも作って白玉にかけて“みたらし団子 抹茶風味”が完成しました。

和菓子が中国人に受け入れられるか…と若干の心配を抱え迎えた当日でしたが、これが売れる売れる！

ついでに作ったおにぎりも飛ぶように売れました。

瞬く間に完売し、これならもっと大量に作っておけばよかった…と思うほどでした。他の国の料理もどんどん売れていましたが、日本料理が一番早く完売していましたよ！

個人的には食文化の交流は異文化交流の中でも重要な位置になるのではないかと感じています。その国の料理が口に合えば、生活していても楽です。幸いにも私は今のところ「無理だ！」と思う外国料理には出会ったことがなく、中華料理も美味しくいただいています。

今回の“美食节”を通して、少しでも多くの方に日本料理（今回は和菓子）の紹介ができて、よかったと思っております。

#### あしがき

徐々に寒くなり、冬の訪れを感じるようになりました。

正月は、もうすぐ目の前です。お体に気をつけて良いお正月をお迎えください。

次回は2月頃の配信を予定しています。来年もメルマガをよろしく申し上げます。

#### \* 「クイズ！海外豆知識！」の解答・解説\*

Q1の答えは、④ハングルの日です。

最近ハングルの日を祝日にしようとする動きはあるもののまだ祝日ではありません。子供の日とチュソク(秋夕)は日本と同じく祝日です。それから仏教の日(旧暦4/8)とキリスト教の日(12/25)も韓国では国が定めた祝日です。

Q2の答えは、②29歳です。

トルコは人口構成が若く、15歳から64歳までの人口は人口全体の約67%、0歳から14歳までの人口が約26%、約7%が65歳以上の人口となっています。近年、人口が増加していることについては、高い経済成長や幼児死亡率の減少等が関係していると考えられています。

( <http://www.invest.gov.tr/tr-TR/investmentguide/investorsguide/Pages/DemographyAndLaborForces.aspx> から平均年齢を抜粋。2010年の数値（正確な数値は29.3歳）。)

※Q1は韓国語担当の李貞玟 国際交流員からの出題です。

Q2はトルコ語担当のアイドゥン フセイン メテ 国際交流員からの出題です。